

第5回中央委員会

今ある会社の問題や課題が浮き彫りに 私たち自身の手で変革させていく「決意と覚悟」を確認

2月3日、東京都・ホテルラングウッドにおいて「第5回中央委員会」を開催しました。構成員全員の出席のもと、傍聴者をあわせて200名を超える組合員が結集し「安全の確立」をはじめ「2018春闘」「労働条件の向上」「組織強化・拡大」を柱とする「当面の活動方針」を満場一致で決定しました。



来賓には、立憲民主党・海江田万里衆議院議員、退職者連絡会・中山副会長、交運共済・坪井理事長に駆けつけていただき、それぞれ激励と連帯のあいさつを受けました。



委員会議長には新潟地本・渋谷中央委員を選出し、スムーズな進行により中央委員会の成功へと導いていただきました。

あいさつに立った佐藤中央執行委員長は、第5回定期大会から今日までを振り返り、安全の確立と2018春闘、組織強化・拡大にむけた決意を述べた上で「結成の理念に立ち、労働組合の垣根を越えて多くの社員から共感され、信頼される労働組合を創造するために、新たな一步を踏み出そう」と呼びかけました。

揺るぎない団結のもと、労働条件の向上に全力をあげる！

質疑・討論では、全地本・12名の中央委員から発言がありました。安全問題では、各系統における現場第一線の実態が赤裸々に語られたほか「JR発足30年 あらゆる労働条件・労働環境の総点検行動」における成果と課題、「エルダー社員制度」の諸問題を含めた労働条件の向上にむけた取り組み、職場活動を基軸とした「組織強化・拡大」の実践的教訓、ともに苦勞してきた組合員への思いなどが語られ、提起した方針がさらに補強されました。



2018春闘方針を確立！賃上げにむけて全力で闘おう！

委員会宣言

本日、私たちは「ホテルラングウッド」において「第5回中央委員会」を開催し、大会以降の成果と教訓、2018春闘方針をはじめ当面する活動方針を満場一致で確認した。

2013年12月の結成大会から5年目に突入した。各地方本部の組織強化・確立はもとより、業種別協議会の確立など、業務問題に立脚した組織づくりは着実に強化されている。その結果、第5回定期大会以降5名の新たな仲間を迎えることができた。

私たちは、結成以降一貫して鉄道労働者の根幹でもある「すべてのJR労働者の死亡事故・重大労災事故ゼロ」をめざし、職場の諸課題に取り組んできた。しかし、グループ会社を含めた社員の死傷事故は後を絶たない。要員は適正に配置されているか、作業に無理は生じていないか、ルールそのものが正しいのかなど、労働組合として死傷事故根絶にむけて検証運動とともに安全議論を職場から大きく展開していく。

昨年4月から提起してきた「JR発足30年 あらゆる労働条件・労働環境の総点検行動」を組織の総力をあげて100%集約にむけて取り組んだ。組合員はもとより労働組合の垣根を越えて寄せられた要求は、職場の改善から賃金・手当制度に至るまで幅広い視点からあげられた。JR発足時より積み重なった不安や不満からの「非痛な叫び」は、要求の根拠・改善にむけた決意や思いなどによって、より豊富化され「要求」へと高められてきた。これまでの既成概念を突破し、役員の粘り強い関わりと100%集約にむけ組合員と膝を付き合わせていく中から、深い絆と信頼関係、強い仲間意識へと構築されてきた。まさに、取り組みを通じ、役員・組合員の労働者としての質的向上が図られ組織強化・拡大へと繋がってきたのである。今後は、本部一本社間および地本一支社間において、要求実現にむけた交渉を精力的に展開していく。

2018春闘は、すでにスタートしている。私たちの要求は「2017年度第3四半期決算」および「2017年度通期業績予想」における「過去最高」を更新し続ける企業の支払い体力と、日々の「安全・安定輸送」「信用・信頼」をつくりだしている私たちの労働力に見合った当然の主張である。絶好調ともいえる経営状況を生みだしているのは、私たちJR労働者の英知と努力の結集によるものである。経営側の言う「世間相場」や「高い公共性を有した企業としての突出感」「新幹線鉄道大規模改修引当金」など、安全投資優先を常套句とした「出さない理由」を打ち破っていかなければならない。そのためにも、これまでの闘いの成果と課題、教訓を明確にし、賃金・手当交渉で培ってきた運動をさらに推し進め、3月3日に開催する「2018春闘総決起集会」にJR労働者の総結集を勝ちとろう。

第48回衆議院議員総選挙では、自民党安倍政権とその補完勢力の圧倒的勝利を許してしまった。その最大の原因は、本来結集すべきはずの反自民・非自民の野党側の「排除の論理」による力の分散であった。私たちは、混迷する世の中から安倍政権の暴走を許さず、労働者に立脚しJR労働者の利益を代表し得る政党や労働団体、仲間との連帯の輪をさらに広げていかなければならない。

私たちは、JR東日本労働組合結成5年目を迎えた今日、あらためて結成の意義を再確認し、これまでの取り組みに自信と確信、責任を持って、結集するすべての仲間とともに職場から労働運動をつくりだそう！

以上、宣言する。

2018年2月3日
JR東日本労働組合
第5回中央委員会